

令和7年度 唐津市立呼子小学校重点プロジェクト

項目	重点取組	具体的方策	評価	担当
① 学力の保障	「わかる授業」の展開	よぶこっこ学習過程を基本とする授業実践（全教科） 認めて、ほめて伸ばす 価値づけの重視（学び方、発言内容、振り返りの内容等） TT指導によるきめ細やかな指導の工夫	全国・県調査、標準学力調査において、県平均正答率の対比を前学年時より上回る。 「授業がよくわかる」（児童90%以上）	学習部
	校内研究の充実	算数科における「かく活動」の充実、共通理解・共通実践 グループ研の確保と連携強化 レディネス調整の実施		研推委
	基礎・基本の定着	ぐんぐんタイムの見直し 家庭学習の手引きをもとにした習慣化への指導と学習内容の充実 課題の工夫と事後指導の徹底		学習部
	家庭への啓発	家庭学習の手引きをもとにした習慣化への指導・家庭との連携（レベプリの効果的な活用） 学習部だより、学年だより（学習に関する内容）の発行		
	ICT利活用の充実	タブレット端末活用に関する研修会の実施と積極的な活用		情推R
② ひとりひとりを大切にする教育	教育活動のUD化	教材教具の工夫や提示の仕方、掲示物の共通理解等、授業・教室環境のUD化 「困り感のある児童」の共通理解と支援の充実	「どの子も楽しく、理解できる授業づくりのために自分の指示の出し方や説明の仕方において、UD化に努めた」（教職員80%）	子ども支援部
	特別支援教育の充実	担任間の連携、外部機関との連携 外部講師を招聘しての研修会の実施 外部講師を招請しての研修会の実施 保護者・地域へ啓発する「えがお」の発行	「特別支援教育についての知識や理解を深め、全職員で有効な支援ができた」（教職員90%） 学期に1回程度発行	
	人権教育の充実	あいさつ・「さん」付けの指導 全学年における人権学習の確実な実践 6年生における部落史学習の取組 人権集会の実施など人権強化週間の取組	「学校では道徳や人権教育などがきちんと実施されていると思う」（保護者90%以上）	
	自己肯定感を高める教育活動	出番・役割・承認を意図してつくる学級経営及び学校行事での取組 委員会活動における主体的な活動の重視 たてわり活動の実施	「学校では楽しく過ごさせている」（児童90%）	保体・特活部
③ を呼ぶ育う教育	地域連携した活動の推進	各学年で重点とする体験活動の設定 「いきいき学ぶからつ子育て事業」・「海洋教育」の推進	「地域のよいところと言える」（児童90%以上）	各学年
	キャリア教育の推進	職業講話・職業体験の実施	「夢や目標に向かって努力する気持ちを持っている」（児童90%以上）	
④ 改業 善務	時間外勤務時間の削減	タイムマネジメントを意識した働き方 ハッピーフライデーの推奨（毎週）、スーパーハッピーフライデーの厳守（月末17:30全員退勤）	一人当たりの平均前年比5%削減 年間10回／12回達成	全職員
	協働による業務	『和協』（和衷協同）を合言葉に、職員の連携を強化する。		